



募集案内

主催:(公社)沖縄県青少年育成県民会議

共催: 沖縄県教育委員会

令和6年度沖縄県青少年フレンドシップイン九州団員募集要項

事業の概要

次代を担う青少年同士の交流・体験活動を通して友情や生きる力を育むとともに、規律ある共同生活を通して自主性及び協調性を養う事を目的に、「沖縄県青少年フレンドシップイン九州」を実施する。

1. 日程 令和6年7月27日(土)～7月31日(水) (4泊5日)

2. 目的地 熊本県

3. 参加人員及び団体構成

① 参加人員 177人

(内訳)	・一般団員	県内に在住する小学5・6年生	120人
		県内に在住する中学生(副班長)	20人
	・班長	県内に在住する高校生	20人
	・役職員	団長1人、事務局長1人、事務局職員15人(内看護師3名)	

② 団構成 20班(1班8人=小学生6人、中学生(副班長)1人、高校生(班長)1人で編成する)

4. 活動内容

① 事前研修(対象:全団員/離島団員は7/20オンラインでの参加も可とする)

地区	日時	活動内容	場所	その他
沖縄本島地区 宿泊研修	7月13日(土) 10:00集合 7月14日(日) 13:00解散	事業概要説明、団員の心得、レクリエーション、体験学習準備、郷土の歴史・文化についての学習	県立 石川青少年の家	研修会会場までは保護者で送迎する

●会場の都合により、7/13 13:00集合 翌日 12:00解散になる場合もございます。ご了承ください。

※補充者研修(対象:事前研修会に参加できなかった団員および離島団員)

7月20日(土)13:00～16:00 場所:県三重城合同庁舎 / 離島団員はオンライン(ZOOM)でつなぐ

② 本研修日程(予定)

月日	交通機関	活動内容	宿泊
1日目 7月27日(土)	航空機 バス	(那覇空港 8:00～8:30頃集合予定) ・結団式 那覇空港～福岡空港	国立阿蘇青少年 交流の家(4泊)
2日目 7月28日(日)	徒歩 バス	・自然体験(登山その他) ・キャンドルのつどい	
3日目 7月29日(月)	徒歩 バス	・交歓交流会(熊本県児童生徒) ・号車別創作発表会	
4日目 7月30日(火)	徒歩	・自然体験・参観活動・お別れセレモニー ・研修のまとめ	
5日目 7月31日(水)	バス 航空機	・買い物・解団式 ・福岡空港～那覇空港 (17:00～18:00頃到着予定)	



③ 事後研修

月日	活動内容	場所	その他
9月15日(日) 13:00～17:00	・本研修のまとめ学習(班ごとにレポートを作成し事業の目的と自身の成長を確認する)	県立石川青少年の家	研修会会場までは保護者で送迎する

※活動内容は都合により変更する場合があります。

1 応募資格 一般団員の応募資格は次のとおりとする

- (1) 沖縄県内に在住する小学5年生・6年生及び中学生
- (2) 心身ともに健康で、規律ある団体生活及び団体行動ができる者
- (3) これまでに沖縄県青少年育成県民会議が主催する類似の事業に参加したことがない者
- (4) 研修中に SNS にて子ども達の様子を UP します。掲載 NG の方はご参加をご遠慮ください。
- (5) 研修に必要なしおり等を作成するにあたり、氏名・学校名・学年・市町村名の掲載に同意いただける方。

2 応募方法及び募集期間・当選発表について

- (1) 応募方法 下記3つよりご選択ください ※重複での応募は無効とさせていただきます

- ①QRコード

右の QR コードを読み取り、応募フォームに記入する

- ②はがき

次ページの FAX 用フォームと同様の必要事項を記入し申込先に送付する

応募はこちらから↑

- ③FAX

次ページに記入し(公社)沖縄県青少年育成県民会議(FAX:098-861-3473)に送信する

(一般団員応募申込書はコピーして使用してもよい。)

<参考:R5 年度 小学生 倍率 2.5 倍 / 中学生 倍率 5.2 倍>

- (2) 当選発表

当選発表は令和 6 年 6 月 21 日(金)までに当選された方のみはがきにて通知する

- (3) 応募は 1 人 1 回限りとする

- (4) 応募期間

令和 6 年 4 月 15 日(月)～令和 6 年 5 月 31 日(金)17 時締切

3 選考 一般団員は次のとおり選考する。

- (1) 抽選による選考 124 人

応募者多数の場合は抽選により選考する。

抽選による選考は、主催者において応募状況を勘案して第3者の立ち会いのもとに抽選を行う。

- (2) 推薦による選考

- ①県内の青少年団体が推薦する者(県子ども会、ボーイスカウト県連盟、ガールスカウト県連盟)

- ②福祉関係機関・団体が推薦する者

(県内児童養護施設、県母子寡婦福祉連合会、県交通遺児育成会)

4 内定及び決定

- (1) 抽選又は、推薦により選考を経た者を一般団員内定者とし、本人及び推薦者に通知する。
- (2) 一般団員内定者は、事前研修を良好な成績で終了したときに、正式に一般団員として決定し、本人に通知する。
- (3) 正式に一般団員として決定し、参加費を納めた者が参加を辞退しようとするときには、ただちに電話等により申し出ること。この場合にすでに納めた参加費を返還する。その際、振込手数料は、辞退者負担とする。ただし、令和 6 年 6 月 28 日(金)以降に辞退を申し出たものには返還しないことがある。

5 経費

- (1) 一般団員(小中学生)は、60,000 円の参加費用を負担する。(事前研修の青少年の家の宿泊・食事代・保険料及び本研修の宿泊・食事・交通費などの諸経費を含む)
※離島団員の離島⇄那覇空港間の航空券代は、上記参加費用には含まれておりません
- (2) 事前研修、本研修、事後研修への参加は、現地集合・解散なので、保護者の責任で送迎する。
- (3) 事前研修、本研修及び事後研修実施期間中に、台風、地震等の自然災害により生じた宿泊費、交通費等の超過経費については自己負担とする。
- (4) 事前研修、本研修及び事後研修の実施期間中に、団員の責任により生じた経費及び怪我、疫病等に要する経費は自己負担とする。

6 事業の中止

台風その他やむを得ない事情で、事業を中止した場合は、一般団員が払った負担金の中から、一般団員のためにすでに支払った経費を除いて返還する。

7 旅行傷害保険等

事前研修、本研修及び事後研修会に参加する際に、(公財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険(A1)に加入する。

また、本研修においては、上記スポーツ安全保険とは別に、国内旅行傷害保険に加入する。

8 その他注意事項

- (1) できる限りアレルギー除去で対応はさせていただきますが、内容等によりましては安全を第一に考え、ご自身での食事持ち込みになります。ご了承ください。
- (2) 本研修では長距離を歩くプログラムもあります。(約 4~5 キロ)

9 申し込み・問い合わせ

事業の詳細については、下記までお問い合わせ下さい。

(公社)沖縄県青少年育成県民会議

TEL:098-861-3463 住所:〒900-0036 那覇市西 3-11-1 三重城合同庁舎4階

FAX 応募フォーム

ふりがな		性別	生年月日	
名前		男 女	西暦	年 月 日()歳
学校名			学年	年生
住所	(〒 -)		電話	
Fax		Mail		
特技・趣味・伝統芸能等				
研修での目標				
事務局へ伝えたいことがある場合ご記入ください。				
食物アレルギー ※当選結果に影響はございません。	あり・なし	保護者氏名		

送信先 (公社)沖縄県青少年育成県民会議

FAX:098-861-3473

☆ 令和5年度 沖縄県青少年フレンドシップ九州参加団員感想文 ☆

『フレンドシップでの思い出』 小学6年 (女子)

私はこの夏、フレンドシップに参加して大きな体験ができました。

熊本城観光や、水基めぐり、あそ山でのハイキングでは熊本の大自然にふれる事ができました。その他にキャンドルのつどいでは、大きなキャンドルタワーがみんなを温かい気持ちにさせてくれて、星座ごとに火を消していく様子が、幻想的でとてもきれいでした。

号車別発表会でのダンスでは、短い時間の中教え合いながら覚え、本番で練習の成果を発揮する事ができました。

ありがとうセレモニーでの班長へのサプライズでは、みんなが行動しやすいように常に考えてくれたり、楽しませてくれたりとお世話になった感謝の気持ちを込めて、色紙を渡しました。班長が泣いて喜んでくれたので、私もつられて泣いてしまいました。

私はフレンドシップが決定した時、友達が出来るか不安でしたが、班長のやさしさと明るい友達のおかげで不安も消え、沢山の思い出を作る事ができました。

高校生になったら、皆をまとめてくれた班長のように、リーダーシップのある人になってフレンドシップに班長として参加したいです。

『九州での出会い』 中学1年 (男子)

私は、初めてこの研修に参加して分からないことが多くて心配でした。けど思ってたよりかは大丈夫でした。私の中で楽しかった思い出は号車別創作発表会とありがとうセレモニーです。号車別創作発表会練習の時皆やる気がある人となない人がいて上手くできてなかったのが心配でした。けど本番の時失敗している人もいたけど楽しそうにやっていたので良かったと思います。他の号車も上手くて見ている楽しかったのが思い出となりました。ありがとうセレモニーでは今までやったことのスライドショーを見てまだはなれたくないなどの感情ができました。その時にこの班の人達とすごした思い出が頭からはなれず涙がでそうになりました。班長へ班からのよせがきを渡した夜は笑いあい涙してもっと友情が深まりました。私は副班長として班長の支えになれてなかったと思いますし、班のメンバーの支えにもならなかったと思います。

けどこの班は元気が良くてうるさいくらい明るくて自分も安心できました。1人1人良い所、悪い所がありました。その良い所をのばして悪い所をなくせるように注意したりできたので良かったと思います。私はまたこの研修に班長として参加したいと思います。そのためにもこの研修で学んだことこの班ですごした思い出などをずっと覚えていきたいです。それと参加させてくれた親や関わった人達に感謝したいです。この出会いがなかったら人生一つ損をしていたと思います。私は話すのが大嫌いでしたがちょっとなれることができたし男子と話すのが苦手だったけどちょっと得意になりました。本当に成長ができて良かったと思います。いろんな人にこの研修へ参加してほしいと思いました。学んだことを活用してこれからの生活にも役立てられるようにしたいです。

『最高の思い出』 高校2年生 (男子)

僕は小学六年生の頃にフレンドシップ九州に参加したことがあり、とても楽しかったのを今でもよく覚えています。今回、班長として参加するにあたって、自分が参加した時の班長と同じように班員や副班長と積極的にコミュニケーションをとったりして、自分の班員にまた参加したいと思ってもらえるよう行動するという目標を立てました。

事前研修で初めて班員と会った時、上手く話しかけられるか、楽しく過ごせるのか大分不安でした。でも班員は皆明るくて元気でとっても良い子達で不安が嘘のように吹き飛びました。事前に立てた目標を胸に班員・副班長と積極的にコミュニケーションをとったりして仲を深めることができたので良かったと思いました。

いざ迎えた本研修ではキャンドルのつどいや号車別発表会、水基めぐりや仙酔峡へのハイキングなど大変なことやキツイこともたくさんあったけどみんなで乗り越えて共有できた達成感はとても大きかったです。

この研修を通して県内各校から集まった20人の班長達や13班の皆と関わりあって僕自身学ぶことも多かったし何より最高の夏の思い出をつくることができたので本当に良かったと思いました!!

